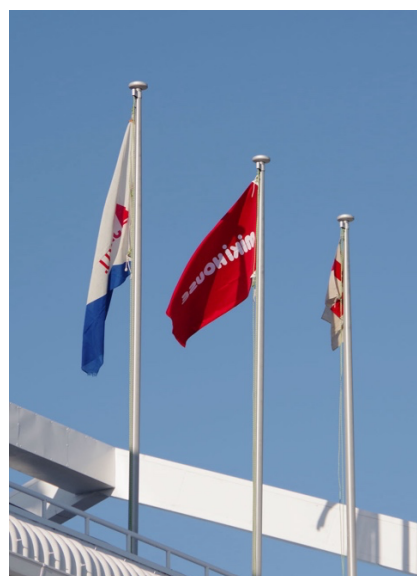


第8回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2021) 実施報告

実行委員長 玉置 純

(一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟 理事)

昨年の第7回大会は、新型コロナ感染の拡大により中止とせざるを得ませんでした。本年も新型コロナ感染の状況を慎重に注視しながら、当初の開催予定日9月5日より日程延期を重ね、11月7日(日)に、大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー(大阪府貝塚市)において、公益財団法人日本セーリング連盟(以下 JSAF)の後援と「三起商行株式会社(ミキハウス社)」様の特別協賛、大塚製薬株式会社、株式会社フォーチュンの協賛を頂いて、大阪府ヨットセーリング連盟と一般社団法人日本ジュニアヨットクラブ連盟(以下 JJYU)の共同主催により、第8回ジュニアヨット国際親善大阪レガッタ(ミキハウスカップ大阪2021)として開催することが出来ました。



大阪府ヨットセーリング連盟二色ハーバー

7日のレース当日は地元の大阪をはじめ、和歌山、兵庫、香川、岡山、遠くは沖縄から総勢34名の選手参加があり、OP級上級者クラスに11艇、OP級初級者クラスに17艇、レーザー4.7に3艇、レーザーラジアルに3艇の内訳です。

参加選手34名に加えて、指導者・保護者50名、運営役員50名の総勢134名の大会となりました。

9時より開会式が行われ、伊藤雅宣レガッタ競技運営本部長(JJYU 副会長)の開会挨拶に続き、後援のJSAF 桑原啓三理事(前副会長)より選手たちへの激励の挨拶と小野澤秀典レース委員長(JJYU 理事)から、大会趣旨や注意事項等の説明がありました。その後、出艇許可のクラス旗が掲揚され、レーザー4.7、レーザーラジアル、OP級上級者クラス、OP級初級者クラスの順にレース海面へ向かいました。



開会式前の運営ミーティング



入賞商品



石垣ジュニアヨットクラブから参加の中野さん親子と J J Y U 伊藤副会長



伊藤レガッタ競技運営本部長の開会挨拶



JSAF 桑原理事（前副会長）とミキハウスの須長選手



小野澤レース委員長から大会説明



いざ出艇



競技は、OP 級上級者クラスは二色ハーバー沖合い海面で、OP 級初級者クラスは北北東の風のため例年の海面（防波堤前）ではなくハーバー出入口近くの海面で実施しましたが、テトラポットと海岸の間の狭い水域の為、午後は例年通りの防波堤北西前の海面に移りました。

当日は 11 月の初冬に入った時期にも拘らず、温かい気温、晴天にも恵まれ、風もほぼ安定した状態が続き、近くに関西国際空港、遠くには明石海峡大橋を臨む中、選手達にとって絶好のコンディションとなり、日頃の練習の成果を大いに発揮してくれたものと思います。

OP 級上級者クラスは 4 レースを実施しました。風速 10~16kt、風向 55° の上級者にとっては、最適の風に恵まれ、上位艇は安定した走りを見せており、随所でつばぜり合いが見られました。コースを長めに設定した事等により、SI では 5 レースの予定でしたが、4 レースで時間切れとなりました。レーザークラスでの沈艇や OP 級でオーバーセールのため水をつくった艇もありましたが、救助をする事も無く、無事にレースを終了しました。



レーザークラススタート後の攻防



上サイド



レーザークラス最終レースのスタート



OP 級上級者クラス 第一レース スタート前



上マークの攻防



上サイド



サイドマーク上位2艇のジャイブ

OP 級初級者クラスは昼休みを挟み6レースを実施する事ができました。ハーバー近くの海面にコースを設定しましたが、OP 級上級者クラスと同じく、安定した風に恵まれ、レースを行う事が出来ました。初級とは思えない程の技量の選手もあり、ゼネラルリコールも発生する等、初級者クラスといえども白熱したレースが展開されました。



OP 級初級者クラスのスタート



上サイドの攻防



陸の応援団

全レース終了後、表彰式・閉会式を参加者が密にならないように考慮して、陸上本部前で行いました。最初に大会を共同主催した大阪府ヨットセーリング連盟 黒石 元 理事長よりご挨拶を頂き、続いて小野澤レース委員長より成績発表がありました。



大阪府ヨットセーリング連盟黒石理事長ご挨拶 小野澤レース委員長より成績発表

表彰式では、各級の 1～3 位に金、銀、銅メダルの授与を行うとともに、ミキハウス様より提供頂いた賞品も授与しました（表彰式の時間短縮のため賞状は後日郵送としました）。

OP 級上級者クラス優勝者の B&G 高松海洋クラブ山本 汐穂さんにはクリスタルガラス製ミキハウス優勝カップ(持回り)が授与されました。

OP 級初級者クラス優勝者は瀬戸内ジュニアセーリングクラブの岡野 凜音さん、レーザー4.7 は和歌山ジュニアヨットクラブの矢野 葉菜さん、同ラジアルは同じ和歌山ジュニアヨットクラブの堀 侑樹さん、クラブ対抗レース優勝(海外セーリング研修への参加資格授与)は B&G 高松海洋クラブとなりました。



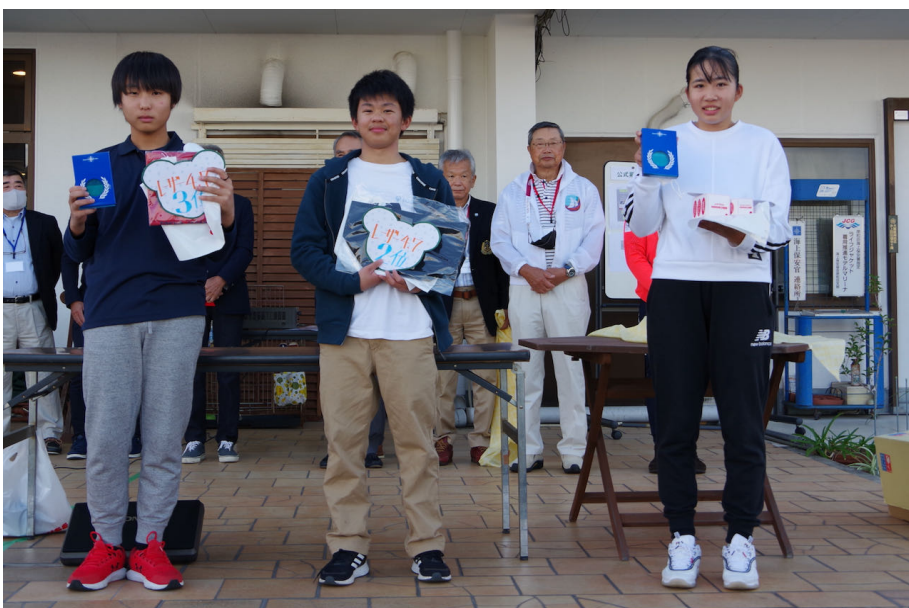
OP 級上級者クラス入賞の選手たち



記念品を手渡す須長選手



OP 級初級者クラス入賞者の皆さん



レーザー4.7 入賞者の皆さん



レーザーラジアル入賞者の皆さん

さらに成績には恵まれませんでしたが、レースで敢闘した選手に協賛を頂いた株式会社フォーチュン様の賞品を同社マネージャーの中川秀男様より授与しました。
今年の東京オリンピック2020にRS:X級で出場されたミキハウス所属の須長 由季さんからも参加選手への激励の挨拶やシーズンオフの過ごし方のアドバイスを頂きました。最後に、高間博之プロテスト委員長(JJYU 理事)からレース講評があり、表彰式を終わりました。



株式会社フォーチュン様から賞品をいただきました



須長選手からの激励



高間プロテスト委員長のレース講評

新型コロナ感染の影響で各地のサーリングの大会も中止や延期が続いていましたが、私たちの大会を実施できた事は、参加の保護者、指導者の皆さんにも満足して頂けたのでは、と感じています。

最後に本大会にご協力頂いた全ての関係者に感謝申し上げるとともに、来年の大会がコロナの影響なく、より多くの参加者を得て、充実したものとなるようご協力を重ねてお願いして、報告とさせていただきます。

以上